

各位

ニュースリリース

学校法人目白学園 目白大学

2026年5月27日

【目白大学】教訓としたのは日本の「出向制度」 英国の政策改革に貢献

日英共同研究チームが提言書を発表

目白大学外国語学部の貝塚沙良講師が、イギリスの政策立案に直接影響を与える研究成果を発表しました。



1. イギリスの行政改革を目指す国際共同研究に参加

このたび、政策提言書「人事異動を通じた政府間能力の強化 ～英国に向けた日本の教訓～」が、イギリス・バーミンガム大学により公開されました。

イギリスで進む地方分権改革をより効果的にするために、日本の出向制度から何が学べるか。その答えを貝塚講師が参加する国際的な研究チームがまとめ、共同執筆したものです。

2. 日本の当たり前が海外で注目

貝塚講師らの研究チームは、日本の出向制度が持つ「計画性」「双方向性」「さまざまな支援」に着目。日本の行政における人事異動制度がイギリスの政策改善に具体的なヒントを与えられることを示しました。

提言のポイント

- 出向は「政策を機能させる道具」として設計
- 中央から地方、地方から中央の双方向の出向を促進
- 出向の目的・期間・評価の明確化、公平な機会の提供
- 出向後の知識と経験の蓄積と循環

3. 貝塚講師の貢献

なぜ貝塚講師が共著者として選ばれたのか。その背景にはイギリスの地域開発に関する深い専門的知見と、イギリス研究チームとの長年にわたる信頼関係がありました。

貝塚講師は以前、同じ研究チームが日本で行った別のプロジェクトにアドバイザーとして参加しており、その実績を評価されたことで、今回の共著者として招かれました。

提言書の中で日本の制度を紹介する章の執筆を担当したほか、日本語版の翻訳に携わりました。さらに、東京で行われた関係者へのインタビュー調査では、日本の現場の声を研究に届けるという重要な役割も果たしました。

4. 世界に届く研究力

本提言書は、バーミンガム大学のウェブサイトで全文公開されており、日本語版も用意されています。イギリスの政策立案者に少なからず影響を与えることが期待できます。



Isabel O. via Canva.com (www.canva.com)

貝塚沙良（かいづか・さら）

Dr Sara Kaizuka

目白大学外国語学部英米語学科 専任講師

リーズ大学大学院政治学博士号を取得。現在は目白大学で国際関係論を担当するとともに、英国地域開発政策および公正な移行（Just Transition）をテーマに研究を行っています。これまでに偽情報と民主主義の後退、政治学教育など多岐にわたるテーマで共著論文・著書を発表。国際的な学会にも所属し、国内外で精力的に研究活動を展開しています。



目白大学

目白大学は、2023年に学園創立100周年を迎えた目白学園を母体として1994年（平成6年）に開学。文系6学部を新宿キャンパス、保健医療・看護系の2学部をさいたま岩槻キャンパスに設置し、あわせて8学部16学科に約5,600名、大学院7研究科に約120名の学生が在籍しています。

目白大学公式HP

<https://www.mejiro.ac.jp/>

- 画像素材はこちらからダウンロードできます。

<https://xgf.nu/zj5sM>

<本件に関するお問い合わせ先>

目白大学 大学企画室

〒161-8539東京都新宿区中落合4-31-1

TEL : 03-5996-3121 E-mail : colgakumu-h@mejiro.ac.jp